

答弁書第四十二号

内閣参甲第四三号

昭和二十三年三月三十日

内閣総理大臣 芦田 均

参議院議長 松平 恒雄 殿

参議院議員岡村文四郎君提出農地利用等に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

昭和廿三年四月五日

参議院議員岡村文四郎君提出農地利用等に関する質問に対する答弁書

裏作の作付利用状態に関する最近の調査は別表の通りであるが、その後復員等による農村労力の充実、肥料等生産資材の恢復等により漸次利用の高度化をみつつかつあるが、今後においても、土地改良、その他技術の改善等により極力裏作地を開発利用し食糧等の増殖に寄與することは頗る緊要の事と認められるので、土地改良等に関する開発事業を極力推進するは勿論、適品種の改良、栽培法の改善、普及等のため中央、地方を通ずる試験研究調査機関の整備、拡充、技術滲透施設の実施等夫々適切なる施設を図り裏作開発による食糧の増産に遺憾なきを期しつつある次第である。

裏作を行わざる主要原因別見積面積

(昭和二十年二月一日農林統計調査)

主要原因	田面積	畑面積	計
排水不良	六二八、三八六町	一町	六二八、三八六町

積雪長期	四三九、八一〇	六九、六三〇	五〇九、四四〇
休閑	一四八、八六〇	—	一四八、八六〇
土地改良工事施行	四五、五四九	三二四	四五、八六三
山蔭地、寒冷地	一二、二九三	—	一五、九二三
水利闕係(用水不足)	四、二二五	—	四、二二五
旱期挿苗	一、二二六	—	一、二二六
災害復旧、被害常習地	二、七五二	五六〇	三、三一二
勞力不足	九六、四三三	二八、〇二八	一二四、四六一
地力保持	—	六七、八八三	六七、八八三
春夏作予定(輪作)	—	二四、五八四	二四、五八四
工場等の敷地予定	—	三二七	三二七
苗床予定	—	二五九	二五九
合計	一、三七九、五三〇	一九五、二一五	一、五七四、七四九